

# 『ジョージ・エリオット研究』 (*The George Eliot Review of Japan*)

## 投稿規程とチェックシート (2022年度版)

### <投稿規程>

1. 投稿者は原則として日本ジョージ・エリオット協会会員であること。  
.
2. 論文は未発表のものであること。ただし、すでに口頭発表し、その旨明記している場合は、審査対象とする。
3. 論文原稿は、原則として **Microsoft Word** で作成し、A4用紙に横書きしたものとする。  
日本語論文の場合は、1頁 35字×30行で17頁以内、英語のシノプシス 600語以内（ネイティブチェックを受けることを推奨する）。英語論文の場合は7000語以内（ネイティブチェックを受けることを推奨する）。上記の長さには本文および注を含むが、表、グラフ、数式、図版および論文末尾に加える引用文献についてはこの制限外とする。また、図版等は、挿入箇所と大きさを原稿の中で指定すること（例：原稿の p. 5 に 20字×25行の大きさで図1を挿入）。  
以上の点をチェックシートに記入し、確認する。チェックシートの詳細については、学会ホームページの「投稿規程・チェックシート」([g-eliot.jp/ronsyu.htm](http://g-eliot.jp/ronsyu.htm)) を参照のこと。
4. 論文原稿1部とチェックシート1部を、添付ファイルで、日本ジョージ・エリオット協会事務局 ([georgeeliot.japan@gmail.com](mailto:georgeeliot.japan@gmail.com)) に送付する。
5. 書式上の注意
  - イ. 原則として、日本語は MS 明朝、英語は Times New Roman を使用。
  - ロ. タイトルは 14 ポイントで太字、章題は 12 ポイントで太字、氏名・本文・注・引用文献等は 12 ポイント、独立引用文は 11 ポイントとする。

ハ. 注と参考文献は、それぞれ分けて原稿末尾にまとめて付けること。

ニ. 外国人の人名、地名、書名等は少なくとも初出の箇所て原名を書く。

ホ. その他、書式の細部に関しては、原則として、*MLA Handbook, 8th edition*、あるいは*MLA Handbook, 9th edition*に準ずる。なお、原稿のタイトルのあとに依拠したスタイルマニュアル（例 *MLA*第8版、*MLA* 第9版）を明記すること。

6. 書評原稿は、1頁 35字×30行で8頁程度以内を基本とする。その他の規定や書式については、論文原稿に準ずる。ただし、英語のシノプシスを付ける必要はない。表題（書物の情報）は、著者（编者）名・タイトル・シリーズ名・出版社・出版年・頁数等を記載する。表題の記載例は学会ホームページの「投稿規程・チェックシート」（[g-eliot.jp/ronsyu.htm](http://g-eliot.jp/ronsyu.htm)）を参照のこと。

7. 原稿の採否および掲載の時期は編集委員会が決定する。

8. 原稿の締切日は4月1日（厳守）とする。

9. 執筆者の校正は初校のみとする。校正は植字上の誤りに関するもののみとし、内容に関する訂正加筆は原則として認められない。

10. 掲載された論文等は一定期間（原則一年間）を経た後に電子化され、インターネット上に公開される。公開を望まない場合は、事務局に申し出ることにより、非公開とすることができる。

\*投稿にあたっては、学会ホームページの「投稿規程・チェックシート」（[g-eliot.jp/ronsyu.htm](http://g-eliot.jp/ronsyu.htm)）をご覧ください。

書評の表題（書名などの情報）の記載例

<p>論文：和文表題 書評：書名などの情報</p>	<p><b>Dermot Coleman, <i>George Eliot and Money: Economics, Ethics and Literature</i></b> (Cambridge Studies in Nineteenth-Century Literature and Culture) (Cambridge UP, 2014) vii+ 226 pp.</p> <p>記載上の注意： (1)「著者（编者）名・タイトル」は14ポイントで太字とする。 (2)「その他の情報（シリーズ名・出版社・出版年・頁数等）」は12ポイントとする。 (3)シリーズ名は（ ）の中に入れる。</p>
	<p><b>Kathleen McCormack, <i>George Eliot in Society: Travels Abroad and Sundays at the Priory</i></b> (The Ohio State University Press, 2013) xii + 178 pp.</p>
	<p><b>Elinor Shaffer and Catherine Brown, editors, <i>The Reception of George Eliot in Europe</i></b> (The Reception of British and Irish Authors in Europe) (Bloomsbury Academic, 2016) lvi+453 pp.</p>
	<p>木下未果子著『共鳴するジョージ・エリオットとヴァージニア・ウルフ——「私」から「私たち」へ』 (彩流社、2018) 294+viii 頁</p> <p>記載上の注意： (1)和書の場合、副題にはダッシュを使用。ただし、副題の後ろにはダッシュは入れない。</p>
	<p>ジョージ・エリオット著、富田成子訳『回想録——ヨーロッパめぐり』 (彩流社、2018) 310 頁</p>

## <チェックシート>

『ジョージ・エリオット研究』に投稿の際、原稿に添付してください。

該当するものを○で 囲んでください		論文      書評
論文：和文表題 書評：書名などの情報		
英文表題 (書評の場合は不要)		
氏名	漢字	
	ふりがな	
	ローマ字	
原稿内容		字数：日本語論文[日本語 A4用紙 1頁 35字×30行で 17頁以内] ( ) 頁 英語論文[7,000語以内] ( ) 語 表：( ) 枚・図：( ) 枚・写真：( ) 枚 書評原稿[日本語 A4用紙 1頁 35字×30行で 8頁程度以内] ( ) 頁
自宅	郵便番号	
	住所	
	電話番号	
	メール	

所属先	所属研究 教育機関 と身分	
	郵便番号 住所	
	電話番号	
	メール	

\* 著者校正などの送付先として、ご希望があれば、自宅・所属先のいずれかを○で囲んでください。

\* 送信後は、事務局からの受領確認のメールをかならずご確認ください。受領確認のメールが届かない場合は、再送信をお願いします。

**【添付ファイルで事務局に送付する物】**

チェックシート 1部  原稿 1部  英語のシノプシス（日本語論文の場合のみ） 1部

**【原稿形態】**

Microsoft Word で作成しているか

字数・行数は守られているか

書式は *MLA Handbook, 8th edition*、あるいは *MLA Handbook, 9th edition* に準じているか